

年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽 I	単位数	2 単位
		学年等	1 年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	高校生の音楽 I (教育芸術社) 単元に応じてワークシートを配付

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。
評価点	200 点	200 点	200 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	[歌唱] 斉唱、独唱、合唱	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	50 点	50 点	50 点
	[器楽] ヴァイオリン、三味線	実技テスト 発表 ワークシート記述	実技テスト 発表 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	[創作] 編曲、作曲	発表 ワークシート記述 作品提出	ワークシート記述 作品提出	行動観察 ワークシート記述
	評価点	50 点	50 点	50 点
	[鑑賞] 音楽史、管弦楽	ワークシート記述	発表 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
前期	4	〔歌唱〕 校歌(斉唱)、魔法みたいに、O`sole mio、Tonight	8	
	5	・バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を理解し、曲のイメージをもち、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う。	8	
	6	野ばら(合唱) ・ドイツ語の発音やその強弱によるリズムや旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい表現で歌う。	8	
	7	◆----- 第1回考査	6	
	8	〔器楽〕 ヴァイオリン、三味線 きらきら星、カノン、喜びの歌、さくらさくら ・楽器の構造、奏法を学び、旋律の動きや余韻の変化などを理解し、楽器の特徴を生かして演奏する。	6	
	9	◆----- 第2回考査	6	
	後期	10	〔創作〕 iPad を用いて校歌の編曲 ・進行について理解し、伴奏を自分のイメージに合わせて編曲する。	8
		11	・循環進行に合わせて旋律を作り、音素材を活用して自分のイメージしている曲想にし、発表する。	6
		12	◆----- 第3回考査	6
1		〔鑑賞〕 ウエストサイドストーリー ・作品のテーマとなっているアメリカの社会問題を理解し、登場人物の心情を感じ取る。	4	
2		交響詩 魔法使いの弟子 ・作品に影響を与えたゲーテの詩「魔法使いの弟子」を読み、情景を浮かべながら曲を鑑賞し、登場する人や物、物語のシーンがどのように音楽で表現されているかについて、考察する。	4	
3		◆----- 第4回考査		

5 その他

- 1日に2時間連続で授業があります。
- 定期考査は実施しませんが、単元ごとに実技テスト、発表を行います。
- 進学で音楽が必要な人は必ず申し出て下さい。
- 創作の授業では必ずiPadが必要になります。他のタブレットではアプリケーションが使用できません。

科目名	書道 I	単位数	2単位
		学年等	1年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のおさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	『書 I』 光村図書 『硬筆レッスン帳』 教育図書

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 	<p>書のおさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。</p>	<p>主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</p>
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	漢字の書 ・文字の造形を学ぶ(楷書・行書) ・創作する	作品 ワークシートの記述	作品 ワークシートの記述	行動観察 ワークシートの記述
	篆刻	作品 ワークシートの記述	作品 ワークシートの記述	行動観察 ワークシートの記述
	評価点	100点	100点	100点
後期	仮名の書 ・文字の造形を学ぶ (筆使い・平仮名・変体仮名・連綿・古筆臨書) ・創作する	作品 ワークシートの記述 テスト(字源)	作品 ワークシートの記述	行動観察 ワークシートの記述
	漢字仮名交じりの書 ・創作する 生活の中の書	作品 ワークシートの記述 硬筆ノート	作品 ワークシートの記述 発表	行動観察 ワークシートの記述
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
----	---	----------	----

前期	4	・書道で学習すること(書道の三分野とその学習方法について) ・書写から書道へ(書写と書道の違いについて)	2
		【1】漢字の書	
		・漢字の変遷とさまざまな書体…書体の変遷と特徴について確認する	4
	5	(1)文字の造形を学ぶ<楷書>…古典の歴史的背景・筆者について知る 鑑賞・臨書を通して、古典の特徴を捉え、用筆・運筆の技法を習得する	6
	6	(2)文字の造形を学ぶ<行書> (3)創作する(カレンダー作品①)…創作意図に基づき、古典を生かした作品制作を行い、鑑賞する	6 8
		第1回考査	
	7	←-----	
	8	(4)篆刻…印の用途を理解する	
	9	制作の手順を理解し、白文印を制作する	8
	10	○生活の中の書①(硬筆-楷書)	
	第2回考査	2	
後期	10	【2】仮名の書	
	11	・仮名の成立と種類 (1)仮名の筆使い…仮名の基本的な用筆・運筆を理解・習得する (2)平仮名…平仮名の字源を知り、字形を捉える (3)変体仮名 (4)連綿…和歌を臨書する(高野切第三種より) (5)創作する(カレンダー作品②)…古筆を生かした作品制作を行い、鑑賞する	8 8
		第3回考査	
	12	←-----	
	1	【3】漢字仮名交じりの書 (1)心に響く言葉を書く…共通の題材で創作の手順について学ぶ	4
	2	(2)創作する(カレンダー作品③)…好きな言葉を書こう… …創作意図に基づき、古典を生かした作品制作を行い、鑑賞する 用具・用材を選択する 古典や古筆を学習した知識・技能を生かし、作品の構想を練る	10
	3	○生活の中の書②(硬筆-行書)	4
	第4回考査		

5 その他

- ただ手本を見て書くだけでなく、単元毎の知識・技能を得たり生かしたりしながら、創作作品の制作を行います。主体的に粘り強く自己表現していきましょう。
- 手書き文字の良さを理解し、くらしの中にある書や文字を意識しましょう。また、日常生活で使用する文字も日頃からていねいに書く習慣をつけましょう。
- 書道実技が必要な大学進学を考えている人は早めに相談に来てください。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術 I	単位数	2 単位
		学年等	1年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	美術1(光村図書)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していこうとしている。
評価点	200点	200点	200点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	明度段階 素描 構成 鑑賞	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察
	評価点	100点	100点	100点
後期	デザイン 立体表現 鑑賞 絵画表現	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察	課題作品 ワークシート 授業中の活動観察
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前期	4	美術 I についてオリエンテーション	1
		カッターナイフで鉛筆を削る。	2
	5	鉛筆明度表現 鉛筆を使って、スケッチブックに明度段階を表す。	3
		鉛筆素描 幾何形体を観察し、スケッチブックに鉛筆で形体や明暗をつけて表す。 円筒形 立方体 球体	6
	6	◆-----第1回考査	
	7	鉛筆素描 鉛筆でスケッチブックに画面構成を行なう。 鑑賞 グループセッション	6
		色彩の理解 ワークシート スケッチブックに水彩色鉛筆で色彩演習を行なう。	4
	8	デザイン(平面から立体へ) コンセプトを考える ワークシート グループセッション アイデアスケッチ(彩色) スケッチブックにアイデアの具体的な形を水彩色鉛筆で描く	10
		図面作成 アイデアスケッチをもとに、平面図、側面図、正面図などを水彩色鉛筆で描く	
9	立体制作 図面をもとに粘土で形成する ◆-----第2回考査	3	
後期	10	立体制作 図面をもとに粘土で形成し、アクリル絵の具で彩色する	8
	11	鑑賞 完成作品を鑑賞し、レポートにまとめる	2
		絵画制作「わたし」 作品のコンセプトと構想を練る ワークシート スケッチブック	6
	12	◆-----第3回考査	
	1	作品制作 B3 イラストボードに水彩色鉛筆で描く	10
		鑑賞 美術作品を鑑賞し、レポートにまとめる	2
	2	作品制作 「わたし」の作品を完成	4
	3	鑑賞 完成作品を鑑賞し、レポートにまとめる	2
		まとめ ◆-----第4回考査	1

5 その他

- 表現活動に様々な用具を使用しますが、基本的に各自の教材費で購入します。
- 表現と鑑賞を通して、個人またはグループによる美術的探求活動を行い、造形的な理解を深めていきます。
- 定期考査は実施せず、授業で行う課題の技能・知識及び思考・判断・表現、主体的な学習態度により総合的に評価します。

